

第50回(2006年度)石油技術協会賞 論文賞および業績賞を受賞
～ベトナム・ランドン油田での地質技術および環境対策が評価される～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)グループの石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森 輝夫)は、「第50回(2006年度)石油技術協会賞」において、論文賞および業績賞を受賞いたしましたのでお知らせします。

今回は、「ベトナム・クーロン堆積盆地の15-2鉱区における湖成根源岩(こせいこんげんがん)※1・産出油」が論文賞を、「ランドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトのCDM登録」が業績賞をそれぞれ受賞しました。

「石油技術協会賞」は年に1回、幅広く石油開発技術の進歩・発展に貢献し、優秀な功績のあった技術開発者および石油開発会社を顕彰するものです。論文賞、業績賞、報告賞の計3賞で構成されておりますが、うち2賞で当社グループが受賞したことになります。

「ベトナム・クーロン堆積盆地の15-2鉱区における湖成根源岩・産出油」の論文では、ベトナム・ランドン油田の操業生産において、効率的な油層管理※2を可能にする手法を明示しており、今後、他の油田においても探鉱、油田の開発および生産オペレーションへの貴重な指針となることが高い評価を得ました。

また、「ランドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトのCDM登録」の業績に関しては、随伴ガス回収・有効利用によるCO₂の削減プロジェクトとしては、世界初、世界最大であり、世界の石油開発の歴史の1ページを飾るに相応しいものと極めて高く評価されての受賞となりました。


当社は、グループ経営理念として「New ideas」「地球環境との調和」を掲げており、今回の受賞は、その経営理念に沿うものでありますが、今回の受賞に慢心することなく、今後もたえず新しい発想で未来に挑戦し、ビジネスを創造することで、世界をリードし、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指してまいります。

※1 湖に堆積した後、地中に埋没、温度と圧力の影響を受けて炭化水素(原油・ガス)を生成する有機物の含有量に富んだ岩石のこと。

※2 油田において、対象油層からの採収率を高め、所定の生産計画を達成することを目的として、生産操業条件を調整し、必要に応じて抗井の追加掘削や改修を計画すること。

以上

 『1. 受賞概要』(PDF:26KB)

 『2. 「ベトナム・クーロン堆積盆地の15-2鉱区における湖成根源岩・産出油」の概要
「ランドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトのCDM登録」の概要』(PDF:28KB)